

作成年月日	平成 26 年 2 月 24 日
作成部局課室名	県民文化局芸術文化課

## 兵庫陶芸美術館特別展

### 「陶磁ネットワーク会議共同企画展

### 「やきものって何ダ？ 陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」

茶碗や湯呑みなど、日本ほど普段の生活にやきものが溶け込んでいる国は、古今東西ほかにありません。国内各地では、その土地ごとに特徴のあるやきものが作られてきたため、そのバリエーションは極めて幅広いと言えます。

兵庫陶芸美術館の春の展覧会として、特別展「陶磁ネットワーク会議共同企画展 やきものって何ダ？ 陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」展が 3 月 8 日より始まります。

#### 1 特別展の概要

##### (1) 趣 旨

各やきものの産地に所在し、やきものを専門的に収集し展示・公開する美術館・博物館が相互に連携するべく、平成 20 年に 8 館が加盟して「陶磁ネットワーク会議」が設立されました。それから 5 年を経た今、やきものの魅力を伝える共同企画展「やきものって何ダ？」を開催いたします。

本展覧会では、各館自慢の逸品を紹介するとともに、やきものがどのように作られたのか、どのように使われたのか、やきもので何を表現したのかなどのテーマについて、8 館のコレクションを組み合わせせて紹介します。日本各地のやきもの美術館を旅した気分になりつつ、やきものについての「A to Z」を知る機会にしていただければ幸いです。

陶磁ネットワーク会議 参加館（8 館）

愛知県陶磁美術館 / 茨城県陶芸美術館 / 岐阜県現代陶芸美術館 /

佐賀県立九州陶磁文化館 / 滋賀県立陶芸の森 / 兵庫陶芸美術館 /

福井県陶芸館 / 山口県立萩美術館・浦上記念館（50 音順）

(2) 会 期 平成 26 年 3 月 8 日（土）～平成 26 年 6 月 22 日（日）（92 日間）

(3) 出品点数 約 130 点

##### (4) 展覧会の特徴

・各館自慢の逸品を紹介

各館が所蔵するコレクション、およびその作品 1 点 1 点には、館が立地する場所の歴史的背景や、館の作品収集方針が反映されています。「陶磁ネットワーク会議」加盟の 8 館が各館自慢の逸品によって館やコレクションの特徴を紹介します。

・古今東西様々な作品を紹介

5000 年前の縄文式土器から現代のやきものまで、また、日本をはじめ、中国、ヨーロッパ、アメリカのやきものと、普段では、みられないバラエティ豊かな作品が一堂に会するまたとない機会です。普段では見ることのできない取り合わせもあり、各館の収蔵品の個性、面白さも同時に楽しめます。

##### (5) 主な出品作品



かとう はじめ  
加藤土師萌  
ふきずみいろえすいきんもんおおざら  
吹墨色絵水禽文大皿  
1963 年  
愛知県陶磁美術館



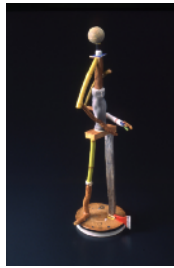
いたや はざん  
板谷波山  
さいじやつではもんばち  
彩磁八ッ手葉文鉢  
大正時代初期（1910 年代）  
茨城県陶芸美術館



あらかわとよぞう  
荒川豊蔵  
しのみずさし  
志野水指  
1938～41 年  
岐阜県現代陶芸美術館



ありた かきえもんようしき  
有田・柿右衛門様式  
いろえかちょうもんろくかくつぼ  
色絵花鳥文六角壺  
江戸時代前期（17 世紀）  
佐賀県立九州陶磁文化館



リチャード・ショー  
ベースボール・ヘッド  
1998年  
滋賀県立陶芸の森陶芸館



とみもとけんきち  
富本憲吉  
いろえきんぎんさいしべんかもよう  
色絵金銀彩四弁花模様  
ふたつきがざりつぼ  
蓋付飾壺  
1956年  
兵庫陶芸美術館



えちぜん  
越前  
さんきんこ  
三筋壺  
平安時代末期(12世紀)  
福井県陶芸館



ちゅうごく  
中国  
あいさんさいほうそうげもんさんそくばん  
藍三彩宝相華文三足盤  
唐時代(8世紀)  
山口県立萩美術館・浦上記念館

## 2 その他

- (1) 開館時間 3月31日まで：10時～18時 4月1日から：10時～19時  
\*ただし4月29日から5月6日までは10時～21時  
(入館はいずれも閉館時間の30分前まで)
- (2) 休館日 月曜休館(ただし5月5日(月・祝)は開館し、5月7日(水)は休館。)
- (3) 観覧料 一般1000円(800円)、大学生800円(600円)、高校生500円(400円)、  
中学生以下無料  
( )内は前売り及び、20名以上の団体割引料金です。  
65歳以上の方、障害のある方及びその介護者1名は半額になります。  
午後5時以降に観覧される場合には、夜間割引料金になります。  
(一般500円、大学生400円、高校生250円)
- (4) 主催 兵庫陶芸美術館 朝日新聞社
- (5) 企画協力 陶磁ネットワーク会議
- (6) 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、篠山市、篠山市教育委員会、丹波市、  
丹波市教育委員会、(公財)兵庫県芸術文化協会
- (7) 協力 丹波立杭陶磁器協同組合
- (8) 関連イベント  
当館学芸員によるギャラリー・トーク  
日時：3月22日(土) 4月26日(土) 5月17日(土)  
いずれも午前11時より(観覧券が必要です)

【問い合わせ先】兵庫陶芸美術館 学芸課、企画・事業課  
電話：079-597-3961  
FAX：079-597-3967  
E-mail: [togei@pref.hyogo.lg.jp](mailto:togei@pref.hyogo.lg.jp)

## <参考>兵庫陶芸美術館テーマ展 「丹波今昔物語 (Part 1)」

兵庫陶芸美術館のテーマ展として、「丹波今昔物語(Part 1)」が3月4日より始まります。

### 1 テーマ展の概要

日本六古窯の一つに数えられる丹波焼は、平安時代末期に東海地方の常滑焼や渥美焼の窯業技術を移入・導入して誕生しました。

中世には壺・甕・播鉢を中心に無釉陶器生産に終始しますが、近世初頭には釜窯から登窯に転換し、茶陶なども生産するようになります。ほぼ軌を一にして、各種の施釉技法を生み出し、それを縦横に駆使し、器面装飾に多彩な展開をみせました。さらに近世後期には、京焼系の意匠・技法を受容するなど、時代の要請に即応しながら、現在まで連綿と生産を続けてきた窯業地です。また近年には、丹波焼の伝統を活かしつつ、斬新で新たな息吹に溢れた作品も制作されています。

本展では、800年を超える歴史を育んできた丹波焼を通観するとともに、現在活躍する作家たちの作品を通して丹波焼の未来を探ります。

2 会 期 平成 26 年 3 月 4 日 ( 火 ) ~ 9 月 15 日 ( 月 ・ 祝 )

3 開館時間 3 月 31 日 まで : 10 時 ~ 18 時 4 月 1 日 から : 10 時 ~ 19 時  
\*ただし 4 月 29 日 ~ 5 月 6 日は 10 時 ~ 21 時  
(入館はいずれも閉館時間の 30 分前まで)

4 休 館 日 月曜日  
ただし、5 月 5 日 ( 月 ・ 祝 )、7 月 21 日 ( 月 ・ 祝 )、9 月 15 日 ( 月 ・ 祝 ) は開館し、  
5 月 7 日 ( 水 )、7 月 22 日 ( 火 ) は休館

5 観 覧 料 一般 200 ( 160 ) 円、大学生 150 ( 120 ) 円、高校生 100 ( 80 ) 円、中学生以下無料  
特別展開催期間中は特別展の観覧料に含まれます。  
( ) 内は前売り及び 20 名以上の団体割引料金です。  
6 5 歳以上の方、障害のある方およびその介護者 1 名は半額になります。  
午後 5 時以降に観覧される場合には、夜間割引料金 ( 半額 ) になります。

6 出 品 点 数 3 8 点

7 会 場 兵庫陶芸美術館 展示室 3

8 主 催 兵庫陶芸美術館、丹波新聞社



丹波 白地銅緑釉流徳利  
江戸時代後期 ( 18 世紀末 ~ 19 世紀 )  
兵庫陶芸美術館

### 9 関連事業

(1) 当館学芸員によるギャラリー・トーク

日時 : 平成 26 年 3 月 16 日 ( 日 )、4 月 13 日 ( 日 )、5 月 25 日 ( 日 )、6 月 22 日 ( 日 )、  
7 月 20 日 ( 日 )、8 月 3 日 ( 日 )・31 日 ( 日 )、9 月 14 日 ( 日 )  
いずれも 11 : 00 から 45 分程度 ( 観覧券が必要です )

(2) 「丹波今昔物語(Part 2)」

会 期 : 平成 26 年 9 月 20 日 ( 土 ) ~ 平成 27 年 2 月 18 日 ( 水 )  
出品点数 : 3 9 点